

令和5年5月23日
北海道真狩高等学校

令和5年度南北海道学校農業クラブ連盟意見発表大会実施要項

- 1 目的 クラブ員の身近な問題や将来の問題について抱負や意見を交換し、クラブ員の三大目標を高めるとともに、主体的に問題を解決する能力と態度を養うことを目的とする。
- 2 期 日 令和5年6月29日(木)～6月30日(金)
- 3 会 場 真狩村公民館(分野Ⅰ・Ⅲ類発表会場:集会ホール)
〒048-1611 虻田郡真狩村字光6
北海道真狩高等学校(分野Ⅱ類発表会場:体育館)
〒048-1611 虻田郡真狩村字光6
- 4 主催 南北海道学校農業クラブ連盟
- 5 当番校 北海道真狩高等学校 農業クラブ
- 6 参加資格 令和5年度南北海道学校農業クラブ連盟規定による登録クラブ員
- 7 日 程

○6月29日(木)

1日目	時 間	場 所
受 付	9:20～9:50	公民館玄関
発表順抽選	9:50～10:10	公民館集会ホール
審査員会議	10:10～11:10	公民館会議室
顧問会議	10:10～10:40	高校実験室
リハーサル	10:10～11:10	分野Ⅰ類:公民館集会ホール
		分野Ⅱ類:高校体育館
開 会 式	11:20～12:00	公民館集会ホール
昼 食	12:00～13:00	各控室
発 表	13:00～15:20	分野Ⅰ類:公民館集会ホール
		分野Ⅱ類:高校体育館
リハーサル	15:30～16:00	分野Ⅲ類:公民館集会ホール
審査員会議	15:30～16:00	公民館会議室

○6月30日(金)

2日目	時 間	場 所
受 付	9:20～9:50	公民館玄関
発 表	9:50～12:10	分野Ⅲ類:公民館集会ホール
昼 食	12:10～13:10	各控室
審査員会議	12:10～13:10	公民館会議室
閉 会 式	13:20～14:00	公民館集会ホール

8 開会式・閉会式 次第

○開会式

- (1) 開式の辞
- (2) 南北海道連盟旗入場
- (3) F F Jの歌斉唱
- (4) 前年度優勝杯返還
- (5) 南北海道学校農業クラブ連盟会長挨拶
- (6) 南北海道学校農業クラブ連盟代表挨拶
- (7) 当番校農業クラブ会長挨拶
- (8) 当番校農業クラブ代表挨拶
- (9) 審査員紹介
- (10) 総審査員長挨拶
- (11) 閉式の辞

○閉会式

- (1) 開式の辞
- (2) 成績発表、賞状・優勝杯授与
- (3) 審査講評
- (4) 南北海道学校農業クラブ連盟会長挨拶
- (5) 南北海道学校農業クラブ連盟代表挨拶
- (6) 当番校農業クラブ会長挨拶
- (7) 当番校農業クラブ代表挨拶
- (8) 南北海道連盟旗退場
- (9) 閉式の辞

9 大会役員

南北海道学校農業クラブ連盟代表	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校長	清	澤	城	次
南北海道学校農業クラブ連盟会長	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校	阿	黒	陽	菜
当番校農業クラブ代表	北海道真狩高等学校長	加	藤	和	則
当番校農業クラブ会長	北海道真狩高等学校	山	下	み	のり

10 審査員（順不同・敬称略）

(1) 意見発表 分野Ⅰ類・分野Ⅲ類審査員

〈審査員長兼分野審査長〉

後志農業改良普及センター所長 宮町 良治 様

〈審査員〉

ようてい農業協同組合真狩支所 古屋 薫 様

北海道岩見沢農業高等学校教諭 石田 康幸

北海道大野農業高等学校教諭 古川 茂樹

北海道壮瞥高等学校教諭 阿部 俊孝

酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校教諭 松田 直也

北海道当別高等学校教諭 辻 孝洋

(2) 意見発表 分野Ⅱ類審査員

〈分野審査長〉

北海道後志総合振興局産業振興部農務課長 井出 昌 様

〈審査員〉

真狩村役場産業課長 八丁 幸一 様

北海道ニセコ高等学校教諭 牛島 阜佑

北海道留寿都高等学校教諭 山下 聡

北海道余市紅志高等学校教諭 大野 悟

北海道静内農業高等学校教諭 前道 慶太

北海道倶知安農業高等学校教諭 浅川 哲朗

11 発表分野と内容

分野	内容
Ⅰ類 生産・流通・経営	1. 農業生物の育成や生産性向上に関する意見 2. 農業生産物の流通や消費に関する意見 3. 農業の経営や経済活動に関する意見
Ⅱ類 開発・保全・創造	1. 生産物の加工技術や商品に関する意見 2. 国土や地球環境の保全・創造に関する意見
Ⅲ類 ヒューマンサービス	1. 動植物や地域資源の活用に関する意見 2. 地域の食文化や伝統文化の継承に関する意見

12 発表方法

- (1) 発表者は1人で口頭発表のみとする。
- (2) 発表終了後に質疑応答を行う。
- (3) 事前に提出した発表原稿と発表内容が異なることは認められない。
ただし、発表の一字一句の違いを判断するものではない。

13 発表時間及び質疑応答

- (1) 発表時間は7分以内とし、超過1分で発表打ち切りとする。
なお、時間表示は「6分（1鈴）」「7分（2鈴）」「8分（乱鈴）」で打ち切る。
- (2) 発表時間の計測は、発表者の第1声より開始し、「終わります。」までとする。
- (3) 質疑応答を全分野で実施し、審査の対象とする。クラブ員の質問では、同一分野、同一高校から質問することは出来ない。

14 出場資格

- (1) 発表者は、発表区分ごとに単位クラブで審査の結果、選出された者とする。
- (2) 発表者は、1 単位クラブから各分野 1 名とする。ただし、クラブ員数 200 名以上の単位クラブは、いずれかの 2 分野にもう 1 名ずつ出場できる。
- (3) 発表者は、発表分野のいずれかについても、男女・学科を問わない。

15 審査及び審査委員会

- (1) 審査は発表分野ごとにプレイスナンバー方式で行い、最優秀・優秀を選出する。
- (2) 審査員の人数は、1 分野の発表について 7 名とする。
- (3) 審査員は内部審査員 5 名、外部審査員（学識経験者） 2 名をもって充てる。
- (4) 内部審査員の構成は、南北海道連盟より選ばれた者をもって充てる
- (5) 審査員は発表に対する質疑応答及び指導講評を行う。質疑応答・実施方法は次の通り行う。
 - ア 各校から提出された事前提出書類である発表原稿を、当番校から審査員に送付する。
 - イ 審査員は事前に発表原稿を読み、発表者ごとに質問する内容を 2 つまとめ、当番校へメールにより提出する。
 - ウ 審査員会議において質問する内容を決定する。この際、発表者間で質問内容の難易度をできる限り同じになるように配慮する。
 - エ 各分野審査長が発表者に対して質問を行うが、質問内容は 1 つとする。

(6) 審査基準と配点

- ア 令和 5 年度全国大会実施基準及び南北海道学校農業クラブ連盟基準による。
- イ 質疑応答を含め 70 点満点とする。

項目	事前資料 (Profile)		発表 (Project Publication)			
審査	発表原稿とエントリーシート		発表内容 (Contents)		発表方法 (Presentation)	
配点	10 点		30 点		30 点	
審査項目	発表原稿は誤字脱字なく、書かれているか	5 点	授業等での学習を踏まえ、段階的な意見構築となっているか	10 点	発表方法や態度は適切であったか(発表中の特殊なパフォーマンスを評価するものではない)	5 点
	発表原稿はエントリーシートを踏まえた構成であるか	5 点	意見の論旨が明確で、一貫性のある意見であるか	10 点	意見はわかりやすく、聴き手によく理解されたか	15 点
			意見が具体的で説得力があり、建設的であるか	10 点	審査員からの質疑に対して、適切な応答ができているか	10 点

(7) ペナルティー

- ア 発表時間超過による減点

【減点数】

超過時間	30 秒まで	30 秒超過～60 秒まで	60 秒を超過し、打ち切りとなったもの
減点	1 点	2 点	3 点

- イ 計測時間

計測時間は、発表者の第 1 声から「・・・終わります。」までとする。

16 表彰

- (1) 入賞者に対して表彰を行う。入賞数は発表分野ごとに最優秀賞 1 名、優秀賞 2 名とする。
- (2) 全道大会への出場者は、各分野の最優秀賞と優秀賞二席までに選ばれた 3 名とする。

17 事前提出資料

審査のための資料として、下記のを大会事務局が定めた期日までに提出する。

- (1) エントリーシート 30 部 様式は（様式全一意 1）とする。

- (2) 発表原稿 30 部
 ア 用紙はA4版とし、横書き、片面印刷とする。
 イ 表紙の様式は(様式全一意2)とする。
 ※表紙に装飾や写真を使用しない。
提出の際は、エントリーシート、表紙、原稿の順に綴じて提出してください。(左上止め)
- (3) 事前提出資料の遅延による減点
 事前提出資料が遅れた場合は10点の減点とする。また、提出しない場合には審査をしない。
- (4) 提出期日：**令和5年6月13日(火) 消印有効**

18 参加申込

参加申込はメールでデータ送信し、書類で郵送してください。

- (1) 事前提出書類のデータについてはPDFデータに変換し、
エントリーシートー原稿表紙ー発表原稿の順で、1つのデータにして送付願います。
- (2) PDFデータの保存名は『分野〇類●●高校』としてください。同分野で複数出場する場合は、高校の後に①・②と番号を入れてください。
- (3) 送受信に関するトラブルも想定されるため、参加校におかれましてはメール送信後、別紙のFAX送信票でメール送信の報告を行ってください。
- (4) **メール送信期日：令和5年6月13日(火) 16:00まで**
郵送期日：令和5年6月13日(火) 消印有効
 ※申込様式(データ)は本校ホームページに掲載いたします。

- (5) 負担金
 学校負担金 1,000円とする。(1校あたり)
 個人負担金 1,500円とする。(1名あたり)
 振込手数料は各校で負担願います。
振込期限：令和5年6月13日(火) 16:00まで

- (6) 振込先
 金融機関 ようてい農業協同組合 真狩支所
 口座番号 普通 0039580
 口座名義 令和5年度南北海道意見発表当番校 代表 加藤 和則

19 宿泊先及び昼食

- (1) 宿泊先の斡旋は行いません。
 (2) 弁当(1食800円飲物付)を斡旋いたします。申込書に必要数を記入してください。なお、内部審査員の昼食は、引率顧問及びクラブ員と同様に申し込んでください。

20 その他

- (1) 各校は単位クラブ旗、南北海道連盟事務局は南北海道連盟旗をご持参ください。
 (2) 昨年度最優秀校は優勝カップをご持参ください。
 (3) 前日の発表会場への下見は、準備の関係上ご遠慮ください。
 (4) 各校控室は休憩や大きな荷物を置くときにご利用いただけますが、発表練習はご遠慮ください。
 なお貴重品は各校で管理を願います。
 (5) 当面の日程

日程	内容	対象
6月13日(火)まで	単位クラブ参加申込	単位クラブ→当番校
6月13日(火)まで	発表原稿・エントリーシート提出	単位クラブ→当番校
6月19日(月)前後	審査員に原稿送付(郵送)	当番校→審査員
6月23日(金)	質問用紙回収(メールor郵送)	審査員→当番校
6月29日(木)、30日(金)	大会当日	

21 当番校事務局連絡先・関係資料送付先・メールアドレス

大会事務局・郵送先・メール送信先 北海道真狩高等学校農業クラブ南連意発事務局 〒048-1611 虻田郡真狩村字光6 TEL 0136-45-2357 FAX 0136-45-3514 Mail s.yamada.1825@gmail.com (担当) 山田、新林
--